

新型コロナウイルス感染症対策関連事業 評価シート

1. 事業名	公共施設の安全・安心確保事業			
2. 担当部署	総務部	担当課等	総務課	
3. 事業の概要	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策窓口アクリル仕切り板の設置 来庁者や対応職員の新型コロナウイルスの飛沫感染を防ぐため、市役所本庁舎や各総合支所の窓口などにアクリル製の仕切り板を設置するもの。</p> <p>(2) 職員の分散配置に伴う電話設備工事の実施 職員から感染者が出て市役所機能の停止を招くことがないよう、職員を分散配置することに伴い、電話設備工事を実施するもの。</p>			
4. 事業の目的	<p>今後の新型コロナウイルス感染症対策においては、感染防止の取組を一層進めていく役割に加え、経済支援対策等を通じた市民生活への貢献という役割が求められることから、職員から感染者が出て市役所機能の停止を招くことがないよう対策を講じるもの。</p>			
5. 事業対象	市民、職員			
6. 年度末状態	年度内完了			
7. 事業費	2,136千円	執行額	2,136千円	執行率 100.00%
8. 事業評価	効果があった			
9. 事業評価理由	窓口アクリル仕切り板の設置と職員の分散配置により、来庁者や職員の感染リスク低減に繋がった。			
10. 事業課題	<p>①来庁者や対応職員の新型コロナウイルスの飛沫感染を防ぐためには、窓口のみならず、応接スペース等にもアクリル板を設置する必要がある。</p> <p>②限られた執務スペースの中では、職員間の距離を確保することにも限界がある。</p>			
11. 課題の要因	<p>①応接スペース等においては、相談受付や打合せなど長時間の対応となることから、職員を中心に感染防止対策を求める声が寄せられた。</p> <p>②より効果的な感染防止対策とするため、職員を中心に執務室にもアクリル板の設置を求める声が寄せられた。</p>			
12. 令和3年度の方向	<p>令和2年度において、市役所本庁舎や各総合支所の執務室、年度途中に課題と考えられた会議室及び応接スペースにもアクリル板を設置した。これにより、必要箇所への設置は完了したものと判断できることから、令和2年度をもって事業終了とした。</p>			